

ながさき 県議会だより

5・6月定例会



ながさき

ながさき

【5月定例会】		【6月定例会】	
知事提出の議案	人事 1件(同意)	知事提出の議案	予算 1件(可決)
議員等提出の案件	条例 1件(可決)	予算 10件(可決)	予算 8件(可決)
事件 1件(可決)	意見書 3件(可決)	事件 15件(承認)	事件 1件(同意)
意見書 3件(可決)		議員等提出の案件	条例 1件(可決)
		議員派遣 2件(可決)	意見書 5件(可決)
		議員辞職	1件(許可)



議場コンサートの様子

平成25年通年議会スタート! 会期は311日間

通年議会の2年目となる平成25年長崎県議会定例会は、5月22日に開会し、会期を平成26年3月28日までの311日間と決定した。

開会に先立ち、今年7月31日から開催される第37回全国高等学校総合文化祭(2013)長崎しおかぜ総文祭に参加する県内高等学校の生徒による合唱やハンドベル演奏等の議場コンサートが行われた。(左写真)

同日、障書のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり条例(第37号)の議案を原案のとおり可決・同意した。また、各特別委員会より審査結果の報告を受けた後、離島・半島地域の振興に関する意見書(第37号)の意見書を可決した。このほか、各常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定し、併せて離島・半島地域振興特別委員会・防衛関連産業振興等雇用対策特別委員会を設置し、その構成を決定した。

平成25年6月定例会は、6月5日に審議が開始され、7月11日(37日間)まで開かれ、平成25年度長崎県一般会計補正予算(第1号)など、38件の議案を可決・承認・同意した。知事の政治姿勢をはじめ、アジア・国際戦略、経済雇用対策、観光振興対策、農業振興策、水産振興策、土木行政、教育行政、離島振興対策等、当面する県政の重要課題について終始熱心な議論があり、77億1241万6千円の補正予算を可決した。

また、今定例会議中に、県議会、県政改革特別委員会、条例制定検討協議会及び広聴広報協議会の構成委員も改選された。

一般質問

離島活性化交付金の活用について

【質問】改正離島振興法において、ソフト事業に活用できる離島活性化交付金が創設されたが、本県における活用状況、課題についてどのように考えているか。

【答弁】現在、輸出費支援事業のほか、産品のブランド化や販路拡大事業、アンテナショップの開設にかかる事業などについて、採択されている。

県においては、より効果的に離島振興に資するものとするため、対象事業の拡大や、予算額の増加を図るに努めている。

輸出産品の強化対策について

【質問】五島手延うどん、島原手延うどん、吉岐焼酎など、離島過疎地の地元産品を強化育成することは、少子化や高齢化に対する地域振興につながる。長崎の産品を輸出するに当たっては、生産拡大につながるのではないかと懸念されている。

【答弁】中国・シンガポール・韓国・香港への輸出は少量ではあるが、行われている。

食材フェアの開催やバイヤー招きの支援を行うことにより、輸出の増大を図り、生産拡大等につなげていきたい。

県立総合運動公園における駐車場拡張について

【質問】県立総合運動公園は、新陸上競技場、新早市体育館の完成により、リーグや大規模な屋外屋内の競技会が開催されている。多くの観客や利用者が増え、駐車場の不足が懸念されている。

【答弁】リーグ開催時など不足している状況について、公園内の施設利用状況、周辺の類似施設の整備状況を考慮しながら、利用者の意見も聞き、より県民のニーズに合った施設となるよう検討する。

知事の政治姿勢 歴史認識問題について

【質問】橋下市長・日本維新の会共同代表の、従軍慰安婦に関する「正時は軍の規律を維持するため必要だった」との発言に対し、新聞報道は「橋下市長発言、あきれられる歴史認識の低さ」と批判している。県議会の女性議員が、女性の尊厳を冒すもので、許されないと抗議したことには、大いに賛同する。知事の所見を。

【答弁】女性に対し大変失礼な発言だと思つた。女性の尊厳を無視したようなもので、到底、謝罪しなくてはならない。

離島の公立病院の看護師不足の対策について他

【質問】離島の公立病院の看護師不足の対策について。

【答弁】委員会における議員からの提案も踏まえ、長崎県立大学が今年度実施する入試において、離島勤務を条件とする地域枠の創設を前向きに検討している。

【質問】水資源保全に対する県民の取組について。

【答弁】本県の離島地域において、外国資本による土地取引の事例があることは承知しており、国の法制化の動向を見極めつつ、十分な危機感を持って検討したい。

佐世保港三浦地区多目的国際ターミナルについて

【質問】佐世保市が進めている国際ターミナル整備について、積極的に協力を必要があると思うが、知事の見解を。

【答弁】具体的には、国庫補助制度や、起債措置をどう活用できるのか、実負担がどの程度あるのかなど十分見極めながら、しっかりと検討したい。

【質問】佐世保市が推進している国際ターミナル整備について、積極的に協力を必要があると思うが、知事の見解を。

【答弁】具体的には、国庫補助制度や、起債措置をどう活用できるのか、実負担がどの程度あるのかなど十分見極めながら、しっかりと検討したい。

介護保険の24時間地域巡回型サービスについて

【質問】介護保険事業のうち、24時間地域巡回型サービス(ヘルパーステーション)の実施が、今後の取組をどうするのかが、大村市・吉原市の2区域のみでの実施にとどまると懸念されている。

【答弁】昨年度は県内4区域を見込んでいたが、大村市・吉原市の2区域のみでの実施にとどまると懸念されている。

信用事業の県信漁連への譲渡対策について

【質問】漁協の信用事業統合の計画を聞いて、このことについて県信漁連等がどのような支援を行っているのか。

【答弁】信用漁連は、既存の漁協の窓口を職員として活用し、他、定期ATM店舗の設置などにより、組合員の利便性を確保していく方針。

九州新幹線(西九州ルート)の整備について

【質問】(一)長崎・武雄温泉駅間の複線化(二)新島橋駅への乗り入れ線の整備について。

【答弁】(一)全計画延長約67キロのうち、4割の27キロにおいて工事着手が進んでおり、複線化については、平成27年度末までの予定で環境アセスメントの手続きに入った。

【質問】(二)新島橋駅への乗り入れ線の整備は、肥前山崎・武雄温泉間の複線化と併せて整備される必要がある。

農水産物の生産者販売価格の改善策について

【質問】(一)びわ等の農産物や鮮魚等の水産物の生産者販売価格(手取り額)があまりに低く、生産者の努力が報われない。市場の手取り額から流通経費や生産者の諸経費を差し引くと、所得となるのはほんの僅かである。一次産業の振興のために、いかに売値の改善を積極的に講じていくべきか。

【答弁】販売価格は極めて重要であり、市場流通に加え、バイヤーと生産者により直接交渉する方法など、有利な販売方法の拡大に積極的に取り組んでいく。

みんなで取り組む災害に強い長崎県づくり条例

【質問】(一)自衛・共助・公助による防災対策を総合的に推進することを通じて、災害に強い長崎県を実現しようとするものです。県民等による防災対策や長崎県防災月間などを定めています。その趣旨を踏まえ、正しい防災知識を身につけ、非常用持出品の準備などの防災対策を実施し、災害に備えましょう。また、災害時だけでなく、日頃から地域の安全を守るために、互いに助け合ひましょう。

障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり条例

【質問】(一)障害のある人に対する理解を深め、障害のある人に対する差別をなくすことを通じて、共生社会を実現しようとするものです。その趣旨を踏まえ、次のことを心がけましょう。特別な事情がないのに、障害を理由に通常と異なる対応をすることは、やめましょう。障害のある人から求められたら、障害のある人が障害のない人と同等の活動ができるよう、できる範囲で手助けをしましょう。

SSKの大量離職対策と造船業振興について

【質問】(一)国・県市によって、造船業の振興については、ながさき海洋・環境産業拠点特区を活用し、高付加価値船舶(省エネルギー船等の建造促進)海洋エネルギー分野への事業拡大などを目標とする。

【答弁】造船業の振興については、ながさき海洋・環境産業拠点特区を活用し、高付加価値船舶(省エネルギー船等の建造促進)海洋エネルギー分野への事業拡大などを目標とする。

地域医療再生計画の成果について

【質問】今年度より第3次の地域医療再生計画がスタートするが、これまでの計画の成果と特に人材の育成確保について伺いたい。

【答弁】全43事業のうち93%にあたる40事業が概ね計画どおり進捗しており、その評価については、今年1月に国に報告した。

【質問】今年度より第3次の地域医療再生計画がスタートするが、これまでの計画の成果と特に人材の育成確保について伺いたい。

【答弁】全43事業のうち93%にあたる40事業が概ね計画どおり進捗しており、その評価については、今年1月に国に報告した。

そうめんの振興について

【質問】県庁内レストランには、うどんそばちゃんぽんはあるが、そうめんはない。常時食べることができるよう提案して欲しい。

【答弁】今後、県産品の愛用について、お願いをしたい。

道州制に対する考え方について

【質問】(一)極東中と地域間格差をもたらした市町村合併同様の道州制の導入は、真つ向か反対させるを得ないと思うが、どうか。

【答弁】道州制の導入については、一部の地域だけが発展するようなものではなく、九州各地がそれぞれの産業や文化を活かし、多様な九州を目指すべきである。

総務委員会 委員長/久野 哲

【質問】昨年実施した通学路の緊急点検について、危険箇所を解消するための警察本部としての対応はどのような状況か。

【答弁】危険箇所のうち、信号などのハード面の整備は、約8割が完了している。信号機は、総合的に判断し設置しているが、交通弱者となる子どもや高齢者などについては優先すべきことと考えている。

【質問】企画振興部は、県民所得向上対策をどのように実現するのか。

【答弁】県民所得対策を本当に効果のあるものにするために、まずはしっかりと現場に入り、課題に対する提案力を高めて、現場を先導していきたい。

また、各部横断的に施策を展開して、目標達成ができるよう努力していきたい。

文教厚生委員会 委員長/萬見 健

【質問】子宮頸がんワクチンの予防接種が、小学6年生から高校生を対象に使用されているが、全国でかなり厳しい副作用が報道されている。

県内での接種状況及び副作用による健康被害の発生状況はどうなっているか。

【答弁】県内の対象者4万5077人に対し、接種者は3万2843人とされており、接種率は約73%となっている。

健康被害の発生状況は、本年3月まで任意接種であったため、県を経由せず国に直接報告されていたことから、県では把握できていない。

なお、4月以降は予防接種法に基づく定期接種となり、国から県へ情報提供がなされ、現在までに1件報告されている。

環境生活委員会 委員長/前田 哲也

【質問】長崎港小ヶ倉柳埠頭の整備について(現地調査及び物流関係者との意見交換を行ったうえで質疑を交わした)。

【答弁】6月から釜山航路が増便されていることなどから、平成27年のコンテナ取扱量の目標値を1万個に設定し、物流対策に取り組んでいる。

既存の荷役機械を継続使用していくための維持・整備費の確保について検討していきたい。

【その他】「長崎県環境保全対策臨時基金条例の一部を改正する条例」、「長崎県消費行政活性化基金条例の一部を改正する条例」等についても異議なく、原案のとおり可決し、議案外の所管事務についても、活発な議論がなされた。

農水経済委員会 委員長/西川 克己

【質問】質の良い本県水産物を海外へ輸出することが、将来に向けての一番の対策であると言われているが、輸出戦略に対する県の基本方針は何か。

【答弁】平成19年度に、県漁連、3市場(長崎魚市場・佐世保魚市場・西日本魚市場)、関連市及び県等による長崎県水産物海外普及協議会を設立し、中国や韓国など東アジアをはじめとした海外への輸出拡大を推進している。

【要望】小さな経営体でも、良いものをついている所が多いが、輸出したくても方法が分からない方もいる。

輸出をしていない小規模事業者も含め、民間と共同で水産物の輸出を推進してほしい。

【その他の論議事項】関連企業連動型誘致事業について / 諫早湾干拓農地の利用種別設定について等

予算決算委員会 委員長/楠 大典

付託された案件は、「平成25年度長崎県一般会計補正予算(第1号)」他14件。分科会による審査の結果、原案のとおり可決した。

【主な論議事項】「県内空港活性化推進事業」長崎・ソウル間のLCC就航に対する支援について / 「障害者差別対策事業費」障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり条例の施行に向けた経費について / 「大気汚染監視テレメータ」運営費IPM2.5自動測定機設置箇所の選定について / 「中小家畜対策費」の五島食肉センター及び島原半島地域食肉センターの整備にかかる当該市の負担軽減を図るため、合併特例債償還時の市の負担部分に対する県の支援としての債務負担行為について等

お知らせ

インターネット中継会議録

インターネットを利用した県議会中継(生中継・録画中継)を実施しています。

ホームページ

長崎県議会 検索 会議録全文を掲載しています。

【掲載内容】 ○平成24年4月～25年2月分の本会議・常任委員会 ○平成24年4月～25年4月分の特別委員会

★ご意見等はこちらから★

gikaigiji@pref.nagasaki.lg.jp

長崎県議会報告会『かたろうて県議会』

みなさまぜひご参加ください! 参加自由・入場無料

上五島会場	佐世保会場
日時 平成25年8月24日(土) 19:00~21:00	日時 平成25年8月25日(日) 14:00~16:00
場所 新上五島町石油備蓄記念会館「大会議室」	場所 アルカスSASEBO「イベントホール」

編集 第2号 長崎県議会 広聴広報協議会

発行 議会事務局 (政務調査課) 095(894)3634